

令和 6 年 6 月 26 日
地 域 医 療 課

在宅療養ガイドブック「わが家で生きる」の改訂について

在宅療養ガイドブック「わが家で生きる」（以下「わが家で生きる」という）は平成 27 年に発行、令和 2 年に ACP に関する内容の追加し、現在に至る。発行から数年が経過しており、内容の精査および各事業で得た知見などを活かした更新が必要であることから、今年度改訂を行う。

1 改訂の基本的な考え方

現行版の掲載内容を活かしつつ、全体的に内容を整理し、読みやすさ・分かりやすさを重視し、構成する。

①講演会や各種調査等で見えてきた「区民が気になっていること」を組み込む

本誌は、在宅療養をこれから始める人が手に取ることが多いと考えられ、在宅療養講演会で出た質問などは読み手が知りたいことに一番近いと考える。このことから、講演会で出た質問などを内容に組み込む。

また、令和 4 年度に実施した高齢者基礎調査の中で在宅を難しいと考える理由として、家族への負担という項目が一番の理由となっている。このことから、独り暮らし高齢者の内容や在宅における一週間の流れを例として入れるなど、様々なサービスを活用することで、家族への負担を減らしながら在宅が可能であることを紹介する。

②現在、「わが家で生きる」を活用している医療介護従事者の意見を取り入れる

配布頻度の高い施設や専門部会委員などへアンケート調査を実施し、医療介護従事者の意見も取り入れながら、改訂内容を検討する。

2 事業スケジュール

令和 6 年 6 月	第 1 回在宅療養専門部会にて方向性の報告
6 月～8 月	案検討（事務局）、アンケート調査の実施
8 月	案完成、関係部署および専門部会委員等への確認依頼
9 月～11 月	案校正
12 月	関係部署および専門部会委員等へ最終確認
令和 7 年 1 月	第 2 回在宅療養専門部会での報告
2 月	第 1 回在宅療養協議会での報告
3 月	印刷・納品
4 月	配布

3 「わが家で生きる」利用アンケート調査概要

(1) 依頼先

ア 在宅療養推進協議会・在宅療養専門部会委員

イ 区内医療介護従事者

(地域包括支援センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、
医療連携室など)

(2) 期間

令和6年7月中旬から同年8月上旬

(3) 実施方法

オンライン

(4) 想定項目(案)

本誌の利用頻度・利用のタイミング、利用頻度の高い・低いページ、利用者(患者等)
から質問が多い・興味が高いページ、充実させて欲しいページ、その他自由記載など

4 「わが家で生きる」の配布先

区内医療機関(病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション)、
居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、区立施設等